

主 な 異 常 気 象

災害区分 発生日	気 象 概 況	
<p>令和元年 房総半島 台風及び 前線等による大雨 ・暴風等</p> <p>令和元年 8月13日 ～ 9月23日</p>	<p>令和元年8月13日から9月23日にかけて、日本付近に前線が停滞し、断続的に活動が活発となった。また、この間、8月14日から16日にかけて台風第10号が、9月4日から6日にかけて台風第13号が、9月7日から9日にかけて台風第15号が、9月20日から23日にかけて台風第17号が日本に接近した。これらの台風や前線等の影響により、各地で大雨、暴風となった。</p> <p>8月26日から29日にかけて、九州付近に停滞していた前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部地方を中心に大雨となり、8月の月降水量平年値の2倍を超える大雨となった所があった。特に、28日明け方には九州北部地方に線状降水帯が形成・維持されたため、佐賀県等の複数の観測点で3時間降水量の観測史上1位の値を更新する記録的な大雨となった。この大雨の影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害が発生し、九州北部地方を中心に人的被害や住家被害、農地被害があったほか、停電や断水等ライフラインへの被害や鉄道の運休等の交通障害が発生した。</p> <p>また、台風第15号が9月8日に伊豆諸島に接近した後、9日03時前に三浦半島付近を通過して、9日05時前に強い勢力で千葉県付近に上陸した。この台風の接近・通過に伴い、関東地方南部や伊豆諸島を中心に暴風、大雨となった。東京都神津島で最大風速43.4メートル、千葉県千葉で35.9メートルを観測するなど6地点で最大風速30メートル以上の猛烈な風を観測し、千葉県を中心に19地点で最大風速の観測史上1位の記録を更新した。この暴風の影響で、千葉県では電柱の倒壊や倒木が相次ぎ、最大約934,900戸で停電が発生したほか、大雨の影響で浸水害や土砂災害が発生した。気象庁は、顕著な災害をもたらした台風第15号について、災害の経験や教訓を後世に伝承することなどを目的として「令和元年房総半島台風」と名称を定めた。</p>	<p>○日降水量（1日300mm以上） ＜静岡県＞ 天城山 304.5mm（9/8） ＜三重県＞ 宮川 371.5mm（9/22） ＜奈良県＞ 上北山 315.0mm（8/14） 上北山 402.5mm（8/15） ＜和歌山県＞ 龍神 388.0mm（8/15） ＜徳島県＞ 木頭 461.0mm（8/15） 木頭 503.5mm（9/22） ＜高知県＞ 魚梁瀬 616.5mm（8/15） 鳥形山 352.0mm（9/22）</p>
<p>令和元年 東日本台風 等による 大雨・暴風等</p> <p>令和元年 10月10日 ～ 10月26日</p>	<p>令和元年10月10日から10月26日にかけて、台風や日本付近に停滞した前線の影響により、各地で大雨、暴風、高波、高潮となった。この間、10月12日から13日にかけて台風第19号、10月20日から21日にかけて台風第20号、10月23日から24日にかけて台風第21号が日本に接近した。</p> <p>台風第19号の影響により、10月10日から13日までの総降水量が、神奈川県箱根で1000ミリに達し、東日本を中心に17地点で500ミリを超えた。特に、東日本や東北地方の多くの地点で3、6、12、24時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となった。</p> <p>その後、10月24日から26日にかけて、低気圧等の影響により、関東地方から東北地方の太平洋側を中心に大雨となった。特に、千葉県や福島県では総降水量が200ミリを超えたほか、3、6時間降水量の観測史上1位の値を更新する記録的な大雨となった。</p> <p>これらの大雨により、東日本や東北地方で河川の氾濫や土砂災害等が相次ぎ、死者は99人、行方不明者は3人に及び、家屋の全半壊は約33,000棟、浸水家屋は約31,000棟に達するなど、甚大な被害となった。気象庁は、顕著な災害をもたらした台風第19号について、災害の経験や教訓を後世に伝承することなどを目的として「令和元年東日本台風」と名称を定めた。</p>	<p>○日降水量（1日300mm以上） ＜宮城県＞ 筆甫 558.0mm（10/12） ＜福島県＞ 川内 428.0mm（10/12） ＜栃木県＞ 奥日光 481.0mm（10/12） ＜群馬県＞ 西野牧 471.0mm（10/12） ＜茨城県＞ 花園 455.5mm（10/12） ＜埼玉県＞ 浦山 635.0mm（10/12） ＜東京都＞ 小沢 602.5mm（10/12） ＜神奈川県＞ 箱根 922.5mm（10/12） ＜山梨県＞ 南部 532.0mm（10/12） ＜静岡県＞ 湯ヶ島 689.5mm（10/12） ＜長野県＞ 北相木 395.5mm（10/12） ＜三重県＞ 阿児 383.5mm（10/12） 尾鷲 563.0mm（10/18） ＜奈良県＞ 曾爾 310.5mm（10/12） ＜和歌山県＞ 新宮 300.0mm（10/18）</p>

